

歴史の淘汰をくぐり抜けてきた普遍性のある、
人間関係からビジネスの進展まで適用できる考え方を身につけたい方へ



リーダーに求められる

「哲学思考」の習得と実践

～対人関係からビジネスの進展までの諸問題に対し、正しく解決していくことができる哲学的な思考法を身につける！～

と き 2024年 8月 6日(火) 9:30～16:30

開催形式 会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)



ご参加
いただきたい方

●管理職・チームリーダーの方

※その中でも特に、「哲学界の偉人の思想や智恵」から、

- 先行き不透明で正解がない今後の時代において、ブレない思考や判断軸を持ちたい方
- 仕事にまつわる様々な悩み・問題への正しい向き合い方と柔軟な思考力を身につけたい方
- 他者との正しい付き合い方、協力関係の進展のさせ方、リスクの予防のしかたを学びたい方

価値観が多様化して正解がない今の時代にこそ「人間や未来への洞察」に大きく役立つのが哲学です！

ビジネスと哲学。それは一見親和性がなく遠いテーマのように思われがちです。ただ近年、その様相や認識は少しずつ変わり始めています。先行き不透明な経済情勢への不安視から向学心の高いビジネスパーソンが増えている中、複数の有名経済紙において「哲学」は人材マネジメントや経営戦略をはじめ対人コミュニケーションに至るまで、現代の「先が見えない・正解がない・価値観が多様化した時代」において最も有用な学問であると、複数回特集として取り上げられています。

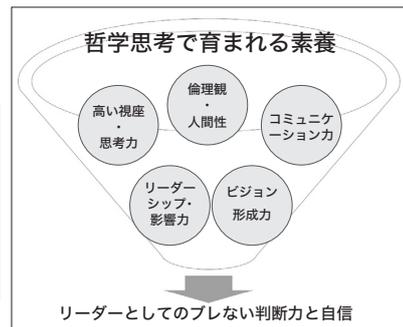
かつての日本は、バブル経済期までは国全体に一体感があり、目標や目指す方向も明確だったこともあって、迷いなく突き進むことができました。その結果、1980年代にはジャパンアズナンバーワンと言われるほど経済的に躍進しましたが、一転して1990年代以降はバブル経済の崩壊、2008年のリーマンショック、更には、ITビジネスへの乗り遅れなどここ30年ほど低空飛行を続けており、今でもなお苦境に喘いでいます。

このような行き詰りの状況において、人は安直な思考法やツールに飛びつきがちです。しかし、『すぐに役立つものは、すぐに役立たなくなる』という格言にあるように、安直な思考法やツールの中で、歴史の淘汰をくぐり抜けて現在まで生き残っていたものはありません。

一方で、約2,500年前にソクラテスやプラトン、アリストテレスなどを始祖にした「哲学」は、2,500年という歴史の風雪に耐え抜き淘汰をかいくぐってきた思想や思考法は脈々と受け継がれ、今もなお多くの書籍で世界中の人に読み継がれています。更には、欧米をはじめとするOECD諸国において「哲学」は義務教育からの必修科目として位置づけられており、哲学思考による探究によって得られる思考の広大さと深遠さは「普遍的な思考のOS」になり得るものとして認識されています。

なぜ、欧米ではそれほどまでに「哲学」が重要な学問として位置づけられているのでしょうか？
ビジネスの進展や人材マネジメントの視点で見た場合、その理由は以下5つに収められます。

- 理由1: 対人関係における倫理的な判断力が養える
- 理由2: 考えていることを筋道を立てて言語化する論理的思考力が鍛えられる
- 理由3: リーダーに求められるコミュニケーション力や影響力が養える
- 理由4: 本質を捉えて課題を浮き彫りにするクリティカルな視点が養える
- 理由5: 行為の対象(仕事)への意義をビジョンとして具現化する力が養える



このように、「哲学」への造詣を深めていくほど、人間の考え方や行動の本質について深い洞察力を養うことができます。また、上記5つの理由は、「哲学」が管理職やリーダーという人の上に立つ人にとって必要不可欠な能力や素養であり、実際に身につけたレベルに応じて活躍できるレベルも左右されますので、「哲学」の知識を実装することは大変有用な武器になります。加えて、日本を代表するある哲学者は、「「哲学」とは、問題を発見し、それに対応するための概念をつくり出す営みであり、過去の哲学者1人ひとりがそれぞれの問題を発見し、一切の妥協を許すことなく、新しい概念をつくり出すことによって問題を解決してきた学問」と述べています。実際、欧米では、「哲学」はリベラルアーツ(直訳すると「自由になるための武器」)7科目の中の最高位の学問として位置づけられているほどです。

本研修では、過去の哲学の偉人の思想や思考法から、管理職やリーダーとして日々の職場や仕事でどのように考えて考動していけば自分を含めた関係者にとって好ましい結果につながるのかについて分かりやすく学ぶことができます。何よりもまずリーダーとしての人間力や器を広げ、逆境や難事にも慌てることなく冷静に対応して良質な行動が取れるようになる土台づくりの機会としてぜひ哲学思考を身につけてください。

「哲学」がなぜ、時代の風雪に耐え抜き、今もなお脈々と生きながらえ、名経営者をはじめ問題解決能力の高いビジネスパーソンに親しまれているのか、その理由が分かり、自分自身に取り入れたくなるでしょう。皆様のご参加をお待ちしております。

◆研修プログラム (9:30~16:30)

- 1.『哲学思考』で世界と人間をとらえる**
 (1) 哲学の起源 ~世界をどう捉えるか (2) 人間とは、自分とはどのような存在か
 (3) 経営とは時代認識と人間理解である
- 2.『汝、自身を知れ』 ソクラテス**
 <講義、演習orディスカッション、全体シェア、解説>
 (1) 無知の知 ~自分は何を知らないのか?
 (2) 自分が人生に本当に求めているものは何か?
 (3) 自分・自社の強みを意識して強化しているか
- 3.『人を動かす三要素』 アリストテレス**
 <講義、演習orディスカッション、全体シェア、解説>
 (1) ロゴス ~ロジック(論理)
 ①論理的でなければ、人には伝わらない
 ②ロジカルシンキング、ロジックチャート、ピラミッドストラクチャーの考え方と使い方
 ③万国共通の「伝える力」とは
 (2) パトス ~パッション(情熱)
 ①理で理解して情で動く ②心が冷えていては、何も始まらない
 ③組織体温を上げるためには
 (3) エートス ~エシックス(信頼)
 ①自分にとって組織にとって正しいとは何か ②ミッション・ビジョンの持つパワー
 ③正しく自らの能力を使用し、開発する

- 4.『わたしはわたし』 モンテニユ**
 <講義、演習orディスカッション、全体シェア、解説>
 (1) どうしたら自分が自分のものになり得るか
 (2) 各人はその考え次第で、幸福にもなり不幸にもなる
 (3) 真の自由とは、自分自身に対してあらゆることを成しうること
- 5.『知は力なり』 ベーコン**
 <講義、演習orディスカッション、全体シェア、解説>
 (1) 知識は技術や実践と結びついて初めて意味を持つ
 (2) 真の知識を得る際に邪魔になるイドラ(先入観)
 (3) 個人・組織として効果的な知の蓄積を行う方法
- 6.『世界ではなく、自分自身を征服せよ』 デカルト**
 <講義、演習orディスカッション、全体シェア、解説>
 (1) 我思う、ゆえに我あり ~感受性と思考力 (2) 仕事=作業+改善(考えよ!)
 (3) 「理性」を鍛える ~仕事とは人格の延長上にある
- 7.『前提を疑え』 フッサール**
 <講義、演習orディスカッション、全体シェア、解説>
 (1) 当たり前を根底から疑ってみる (2) 経営は変化対応業 ~ChangeをChanceに
 (3) よほど意識をしないと、皆「ゆでガエル」になる
- 8. 総まとめ**
 ・全体の総復習、質疑応答、行動宣言

講師
中産連パートナー講師 (ビジネスコンサルタント)
 経営指導団体にマネジメント、コミュニケーション、ビジネススキルの研修を幅広く実践。300名以上の名経営者との交流を基に効果的・効率的なマネジメントの研究と実践に取り組み、経営者・経営幹部・管理監督者層を中心にスキルとマインド、経営視点・組織運営&改革・人材活性戦略の支援を中心に活動中。また、哲学や倫理学に通じ、その幅広い知見を戦略的な経営コンサルティング・組織運営・人材育成支援に活用し、好評を博す。講師・コンサルティングの経験(国内外含む。海外は米国、カナダ、英国、中国、タイ、ベトナム、オーストラリア等)は2万件以上。

*主な資格: MBA(米国アナハイム大学院 経営学修士 最優秀成績者賞) 日経産業新聞 日経アソシエ
 PPI(Positive Power & Influence International Certified Trainer) 英国経営者団体 Institute of Director (IoD) Corporate Governance Handbook
 産業カウンセラー 保育士 (日本代表として論文寄稿。IoDと共にローバル経営者に求められるリテラシーや概念を定義・テキスト執筆し世界へ発信・展開中)

リーダーに求められる「哲学思考」の習得と実践 (8/6) 参加要項/参加申込書

参加費 (1名様)	[中産連会員] 36,300円(消費税込) [中産連会員外] 41,800円(消費税込)
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。
受講までの流れ	<会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2~3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 <オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外での使用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 ・会場受講の場合 : 開催日の前日(土日祝日を除く)・当日・・・・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合 : テキスト発送後(開催日の約1週間前)・・・・・・受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区東区白壁3-12-13 TEL : 052-931-9824 e-mail : kohashikawa@chusanren.or.jp

会社名 _____ 年 月 日

〒 _____

所在地 _____ TEL _____ FAX _____

参加形態	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン				
<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン				
<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> オンライン				
申込責任者 所属部課・役職名		申込責任者氏名(フリガナ)		E-mail アドレス
会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にシ点のご記入をお願い致します。 <input type="checkbox"/> セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(〇印をお付けください)		会員	会員外	